

レミアルト S T 配合設計書

2024年3月

製造：(株)中国アスモン



概要

本報告書は、レミファルトSTの配合試験結果についてとりまとめたものである。

1 産地及び業者名

使用材料の産地及び業者名は、表-1に示すとおりである。

表-1 産地及び業者名

材料名称	材質	産地	業者名
7号砕石	砂岩及び硬質粘板岩	広島市安佐北区大林町	中村砕石(株)
スクリーニングス	〃	〃	〃
石 粉	石灰石	岡山県新見市	足立石灰工業(株)
Y型バインダー	バインダー	愛知県一宮市北方町	日進化成(株)

2 常温骨材の粒度

常温骨材の粒度試験結果は、表-2に示すとおりである。

表-2 常温骨材の粒度

材料種	通過質量百分率(%)							
	13.2	4.75	2.36	1.18	0.6	0.3	0.15	0.075
7号砕石	100.0	86.7	2.5					
スクリーニングス		100	95.2	-	32.6	22.6	14.5	7.5

3 常温骨材合成粒度

常温骨材の合成粒度は表-3に示すとおりである。

表-3 常温骨材の合成粒度

混合物		レミファルトST			
		測定値	粒度範囲		
			下限		上限
合成 粒度 通過 百分率 (%)	13.2	—	—	—	—
	9.5	100.0	100	～	100
	4.75	91.3	80	～	100
	2.36	34.9	23	～	37
	0.6	13.3	5	～	17
	0.3	10.1	—	—	—
	0.15	7.4	—	—	—
	0.075	5.0	4	～	6

4 加熱骨材の粒度

加熱骨材の粒度試験結果は、表-4に示すとおりである。

表-4 加熱骨材の粒度

材料種	通過質量百分率(%)							
	13.2	4.75	2.36	1.18	0.6	0.3	0.15	0.075
2ビン	100.0	80.5	2.7					
1ビン		100	85.2	-	25.6	21.1	7.6	6.0

5 加熱骨材合成粒度

加熱骨材の合成粒度は表-5に示すとおりである。

表-5 加熱骨材の合成粒度

混合物		レミファルトST			
		測定値	粒度範囲		
			下限		上限
合成粒度通過百分率 (%)	13.2	—	—	—	—
	9.5	100.0	100	～	100
	4.75	87.5	80	～	100
	2.36	33.0	23	～	37
	0.6	12.0	5	～	17
	0.3	10.5	—	—	—
	0.15	6.1	—	—	—
	0.075	5.2	4	～	6

6 一軸圧縮試験結果

一軸圧縮試験結果は表-6に示すとおりである。

	レミファルトST	規格値
一軸圧縮試験	1.51	残留ひずみ率1.0以上

簡易ポットホール走行試験結果

簡易ポットホール走行試験結果は表-7に示すとおりである。

	レミファルトST	規格値
簡易ポットホール走行試験	32	3mm沈降時の走行回数30回以上(水浸試験)

6 マーシャル安定度試験

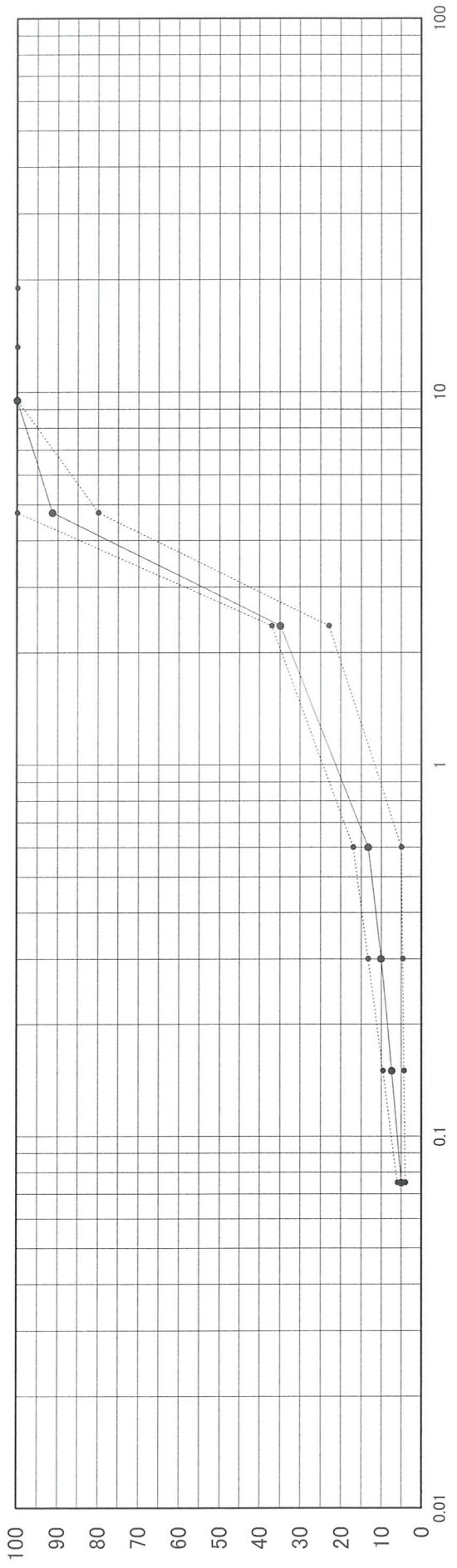
	レミファルトST	規格値
マーシャル安定度試験	3.34KN	2.45KN (250kgf) 以上

バックデータ

常温合成粒度計算表

工事名 _____ 報告年月日 2024年3月1日
 混合物種類 レミアルトST 報告者 井上 誠

使用骨材種	配合率(A)	7号砕石	スクリーニング	石粉	各骨材のふるい目の大きさ別配合率(A) × (B)								合成粒度		粒度範囲						
					1	2	3	4	5	6	7	8	下限	上限	下限	上限					
通過	53.0	65.2	31.9	2.9																	
重量	37.5																				
百分率	26.5																				
(%)	19																				
(B)	9.5	100.0			65.2												100.0	100.0	100	100	
	4.75	86.7	100.0		56.5	31.9											91.3	93.5	80	100	
	2.36	2.5	95.2		1.6	30.4											34.9	33.0	23	37	
	0.6		32.6	100.0		10.4						2.9					13.3	15.5	5	17	
	0.3		22.6	100.0		7.2						2.9					10.1				
	0.15		14.5	98.0		4.6						2.8					7.4				
	0.075		7.5	88.2		2.4						2.6					5.0	5.5	4	6	



一軸圧縮試験

報告用紙

調査名・目的 レミファルトST性状確認試験

製造工場 広島舗材(株)

報告年月日

2024年3月1日

突固め回数

50

回

試験者名

井上 誠

種類	No.	供試体厚さ (cm)					供試体 体積 (cm ³)	空中 質量 (g)	かさ 密度 (g/cm ³)	最大 荷重 (N)	一軸圧 縮強度 (MPa)	一次 変位量 (mm)	二次 変位量 (mm)	残留 歪み率 (%)
		t1	t2	t3	t4	平均								
レミファルトST	1	6.84	6.85	6.86	6.86	6.85	555.3	1095.7	1.973	10540	1.30	2.58	3.60	1.40
	2	6.85	6.87	6.85	6.84	6.85	555.3	1096.6	1.975	9545	1.18	2.37	3.08	1.30
	3	6.89	6.86	6.88	6.87	6.88	557.8	1094.9	1.963	10795	1.33	2.03	3.72	1.83
	平均								1.970		1.27			1.51

備考

60°C 7日間養生

	ポットホール走行試験	報告用紙
--	-------------------	------

調査名・目的 レミファルトST性状確認試験

混合物の種類 レミファルトST 報告年月日 2024年3月1日

混合物の基準密度(A) 1.624 (g/cm³) 試験者 井上 誠

試験条件 走行形式 ○クランク式・チェーン式 換算係数C₁= 1.0 タイヤゴム硬度 20°C(85), 60°C(78)

供試体の作製場所 ○室内作製・現場作製・現場切取 換算係数C₂= 1.0 載荷荷重 686 N

供試体寸法 長さ300 幅300 厚さ50 (mm) 走行回数(B) 42 回/分 走行距離 23cm

供試体養生 — 試験温度 常温 試験時間 —

供 試 体 番 号		No.1	No.2	No.3	平 均
3mm沈下時走行回数(回)	(標準)	43	35	37	38
	(水浸)	31	33	31	32

【 備 考 】

○ ポットホール:直径約10cm、深さ約2cm

○ 締固め条件:ランマーによる30回突固め(水浸:水を溜めた状態で供試体作製)

